

Yell ～絆を深めて Keep Smile～

第17号 令和2年6月15日(月)

分散登校学習の様子をお伝えします。

ホームページでもお伝えしていますが、高学年では、日々教科担任制による学習が進められています。多くの教師で、子どもたちを見守ることができるため、学習内容はもちろん、子どもたちの様子について、情報交換をすることで子どもたちの心の変化を細かくみることができます。



5年1組では、佐伯先生が担任の子どもたちに算数科の学習を進めていました。6年生に行くと、校長先生が社会科の学習を進めていました。



理科や図画工作科などは、専科指導の担当が指導しています。また、分散登校中でも変わらずテストをしています。

スモールステップではありますが、着実に学習しています。全面再開まであと少しの我慢です。



分散登校特集：仲間に会えない思いを言葉に表して

今日は1時間目の学活で、みんなの気持ちをすることができました。友達が、「一日一日を大切にね」と書いていました。その一言がとても心に響きました。今、こうやって6-3のみんなが集まって勉強して話せることが一番幸せだと感じました。みんなの気持ちが伝わってきました。

1週間後は、もっと成長していると思います。みんながそろったときには明るい笑顔でいたい…みんな笑顔のはず！会えない2週間がとても長く、とても悲しいです。この休みの間に、状況が変わって、いい方向に向かってくれると嬉しいです。

最近は「本当だったら、今何をしているんだろう」と考えています。運動会？水泳？いつもどおりの6時間お授業か給食かな？

その日が来るのを信じて待っています。

私は、再開後、クラス全員と会えるとき、みんなにあえて嬉しいという気持ちもあるけれど、「がんばるぞ！」という気持ちになってみんなと授業をしたいです。自分から動いてみんなと楽しくお話をしたいです。

そして、今の自分よりもすばやく動けるようになっていきたいです。そのためには、周りを見て、気付いたことからするようにしたいと思います。

今、この一瞬にありがとう！

なくなってみて初めて分かる有り難さ。私達は、日々実感しています。子どもたちの文章から、同じように感じていることがよく分かりました。

「運動会がしたかったな。」「水泳がしたかったな。」

「早く給食が食べたいな。」「ふつうの6時間授業がしたいな。」

当たり前のことができなくなってしまいましたが、その都度、私たちは子どもたちに、

「ピンチをチャンスに！逆転の発想でいこう！」

と伝えています。

今週末には、再開し、再び給食が始まり、そして6時間授業がもどり、いつしか

「あんな時もあったな。」

とみんなで振り返る時が来ます。そのときには、感謝の気持ちを大切にしていきたいです。

「今、この一瞬にありがとう！」

今は、きっと感謝の気持ちを大切にする時期なのでしょう。保護者の皆様、この時期だからこそ、今まで以上にお互いに手を取り合って、お子様を見守り、育てていきましょう。

今週もよろしくお願いします。